

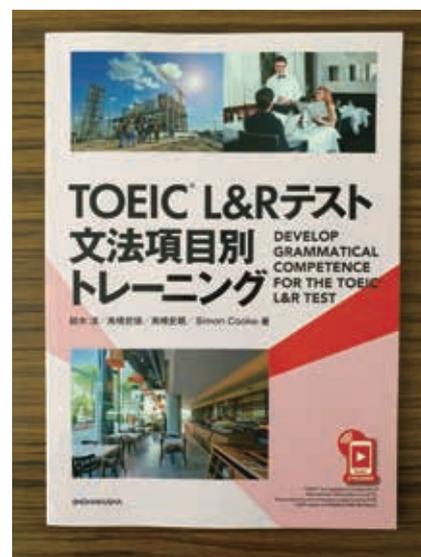
# アメリカ小説と批評理論の修辞学的研究

## 研究内容

20世紀アメリカ小説と批評理論を主な対象として研究を行っている。特に、小説と批評理論における修辞学的側面の研究を中心テーマとしており、一般的な修辞学的文学批評の原理である隠喩と換喩の対立の再検討及び、こうした二項対立において看過されがちなアイロニーという文彩を持つ美学的、理論的可能性を探求している。

## 地域・産学連携の可能性

アメリカ文学と関連して、アメリカ文化研究、特に映画論の研究も進めている。日本がアメリカ文化の世界最大の輸入国の一つであることに鑑みれば、アメリカ文化を考えることは日本文化を考えることでもあり、こうした観点は自国の文化を多角的に考察することに資するものである。他方、日本における英語教育の重要性については多言を要しないが、担当している講義科目が英語であることから、英語の学修支援(補完教育)用教材の開発、資格試験(TOEIC)対策演習も行っているため、これを社内英語教育等にも応用できると考える。



このテーマに関連するSDGs開発目標



総合教育センター アメリカ文学、批評理論、映画研究

**高橋 哲徳** TAKAHASHI Tetsunori

教授・修士(文学)